



宮田 大輝
電気通信大学卒
エンドロス株式会社
所属：営業3課

「安全・安心を徹底した高いクオリティ」という会社の姿勢」

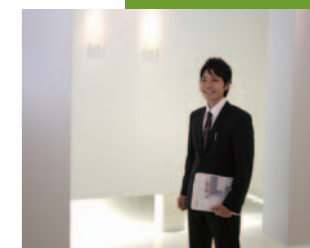
私は子供の頃から絵を描いたり小物を作ったりするのが好きだったので、物作りとデザイン溢れる現場で仕事のできる展示会業界で会社選びをしました。また、今まで高校大学と部活に入って体を動かすことが多く体力に自信があったので、実際に体を動かしながら仕事ができる会社を探したところ、エンドロスのような施工会社にたどり着きました。数ある施工会社の中でエンドロスを選んだ理由として、まず会社紹介で謳ってあった「安全・安心を徹底した高いクオリティ」というフレーズに魅力を感じました。他にも、上海、シンガポールに支店があったので海外出張も可能性があるという期待があり惹かれました。また、エンドロスでは自分の仕事量がそのまま評価される実力主義なので、営業や発注、現場管理等色々な面でとてもやりがいがあります。

「多くの人と接し、大きなコミュニティに参加する喜び」

エンドロスに入ってまず感じたことが、人と接する機会がとても多いことです。東京営業所で約50人、現場ではさらに多くの職人さんと一緒に仕事するので最初はうまくコンタクトをとれるのか不安がありました。しかしそれとはまた逆に、その大きなコミュニティに参加することの楽しさがあるという期待もありました。仕事内容に関しては、まず図面を見るところから始まりましたが、そこはどちらかというと得意分野でしたので不安はなく、むしろすぐに飲み込めるのではないかと期待が沸きました。

「柔軟性を磨き、社のメンバーとして欠かせない存在に」

エンドロスに入り学んだ大事なことは、「空間を作り上げていく形や手順や方法に正解という答えはなく、毎回様々な状況下で出来るベストの仕事をこなしていく柔軟性が重要とされる」ということでした。まだまだ未熟な自分ですが、これから色々な方々にアドバイスやご協力を頂きながらその柔軟性をどんどん磨き、最終的にはNo1を目指したいです。そのNo1が営業としての数字なのか、あるいは何かに特化したNo1なのか、もしくは形に現れない物なのかまだ決まってはいませんが、将来的に自分がエンドロスのメンバーとして欠かせない存在になれるよう頑張りたいと思います。



next HERO 明日の君へ...

新入社員が入社動機から仕事に対する想い、期待、不安、将来のビジョンを語る



「自分の波長と合う仕事の内容、そして会社の皆さんの人柄や雰囲気」

生まれ・育ちが外国と言う事もあってか私の性格上、接客業など人と接する仕事が苦手で、何が自分に向いているのか考えていた時、パソコンで設計やデザインをしている人を見て、面白そうだなあと、勉強を始めました。自分自身が楽しくないと、続かないと思ったので。そして、縁あってバンセイと出会い、最初は契約社員として働いていたのですが、仕事の内容はもちろん、みなさんの人柄や雰囲気が、自分と波長が合うなあと思ったのが正社員になる1番の決め手でした。



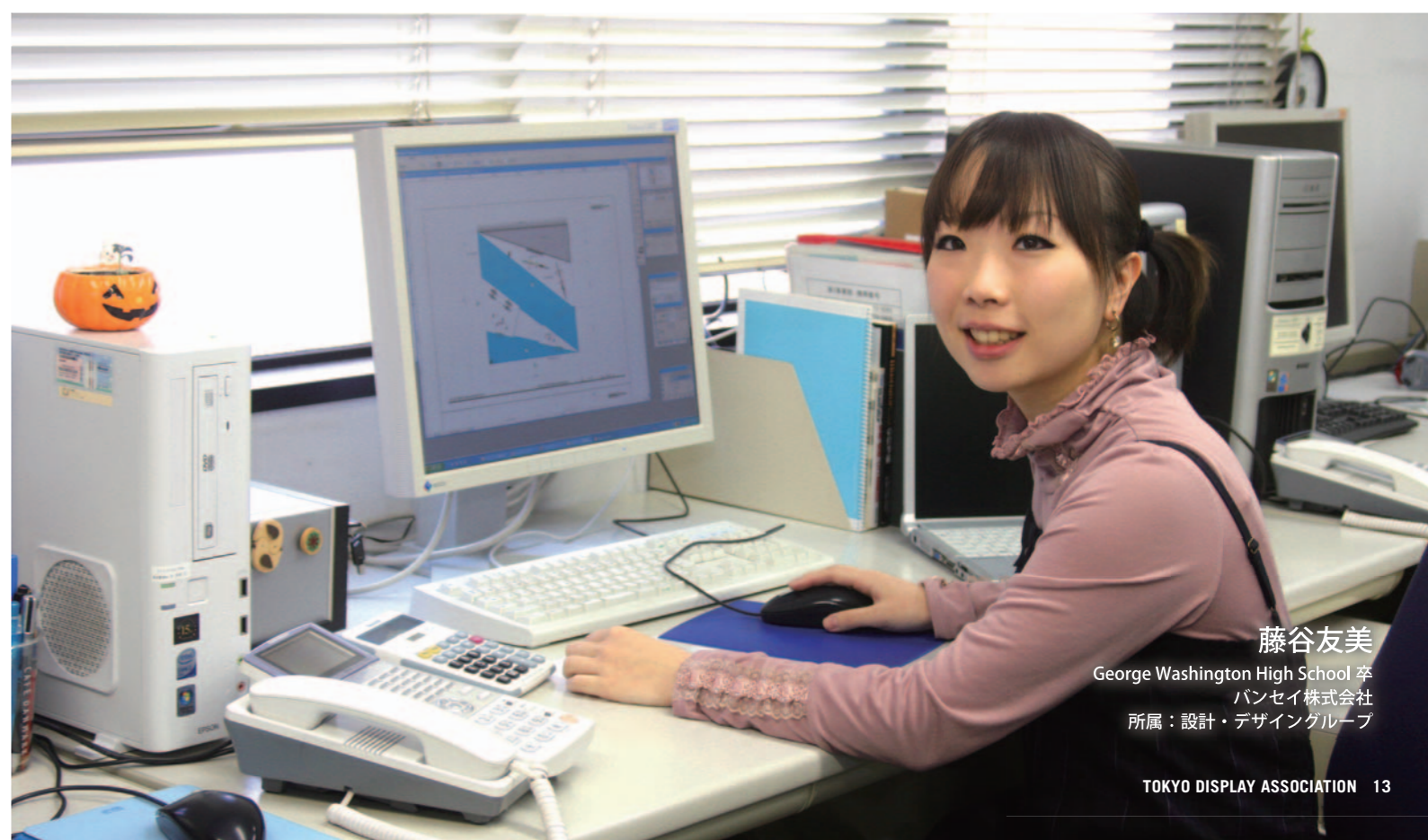
「自分の考えたものが形になって、たくさんの方が楽しい気持ちに」

不安は常にあります。本当にこれでいいのかな？大丈夫かな？と。入社したての頃、あるイベントのポスターのデザインを任された事がありました。色々悩みましたが、なんとか自分なりに良いと思ったものを何案か作り、その中の1枚が選ばれたわけですが、選ばれたのは私が一番良いなと思っていたものではありませんでした。その時、デザインに正しい答えは無いと言う事に気がつきました。答えが無いものに対して不安はありますが、実際にそのイベント会場に行って、自分がデザインしたポスターがドンと貼られているのを見た時、やっぱり嬉しい気持ちが大きかったです。私にどれだけの力があるかわかりませんが、ひとつでも多く自分の考えた物や携わったものが形になって、たくさんの方が楽しい気持ちになってくれれば良いと思います。



「技術を磨き、後輩ができた時にはしっかり指導」

将来のビジョンは正直、漠然としすぎていて、はっきりとは今の私にはわかりません。ただ、せっかくなのでイベント業界のお仕事をさせてもらっているので、自分の好きなジャンルのイベントのお仕事ができたらいいな、とは思っています。そして、今よりもっと技術を身につけて、いつか自分に後輩ができた時にしっかり指導ができるようになっていきたいです。あとはもう今と変わらず楽しく、そして自分らしくやっていけたら最高です。



藤谷友美
George Washington High School 卒
バンセイ株式会社
所属：設計・デザイングループ